キャラクター名: 無敵　煉虎

プレイヤー名:

シンドローム	キュマイラ キュマイラ	ワークス	FHエージェントB	カヴァー	ドカタ
オプショナル		年齢	20	性別	男
覚醒	渇望	衝動	解放	初期侵食率	35 %
出自	天涯孤独	経験	力の暴走	邂逅	進化

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	6		0			6
感覚	0	1	0			1
精神	0		1			1
社会	2		0			2

HP	33
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
FH幹部	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
【55】不死者/アンデッド	P	N		
ZooKeePer	P 尽力	N 恐怖		
バーネット	P 感服	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
完全獣化	5	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	シーン間【肉体】判定＋（Lv+2）D							
剛身獣化	5	6	マイナー	至近	自身	自動	ピュア	
効果：	シーン間攻撃力＋Lv×2、装甲値＋Lv×3							
究極獣化	5	4D10	マイナー	至近	自身	自動	120%	
効果：	シーン間ダメージ＋LvD、装甲値＋10							
獣の力	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	攻撃力＋Lv×2							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値－Lv							
狂気の沙汰	4							
効果：	「究極獣化」使用時、シーン間達成値＋5、ダメージ－10							
幻想の獣王	5	4	マイナー	至近	自身	自動	120%、解放	
効果：	シーン間ダメージ＋LvD、リアクション不可							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

最強の生物になりたいFH所属のオーヴァード。キュマイラのシンドロームを突き詰めるためにありとあらゆる動物に飛びついて切って裂いて噛んで食すことで、食らったことのある生物の牙、爪、ヒレ、翼から毒針、甲殻、白黒模様のような部位や特性を再現することが可能できる。本来であればエグザイル以上に多彩な手札の多さからあらゆる状況でアドバンテージをとれる応用性の高い能力なのだが、彼がタイマンという状況下で最強の生物になることを目標としていること、そして進化の過程でもともと手持ちが少なかった知性をさらに手放したことにより、その使用方法は創造性に乏しい彼の頭の中で思い描いた最強の生物に変貌するにとどまっている。"最強"を志すにしても生物の進化には悠久の時間をかけた自然選択が不可欠であるが、彼の成長は目覚ましいものがある。それは、彼の首に輪をかけて手綱を握るレオナルド・ダ・ヴィンチがそばにいるから。彼のようなオーヴァードを保有しているFHセルリーダー、ZooKeePerは最強の生物になりたいという欲望の成就のため、彼に苦難を強いる。セルから彼に命ぜられる任務は多大な選択圧とストレスに溢れており、それらのちょっとした刺激は一片の無駄もなく彼の進化を、生物としての更なる飛躍を促しているのだ。

――なればこそ、最強の生物になるプロセスにおいては、彼が"ジャーム"化するというステップも必要不可欠だったのだろう――

ZooKeePerが飼っているオーヴァードたちは一匹の例外もなく"ジャーム"である。欲望の成就というFHの理念においてオーヴァードが"ジャーム"に堕ちる過程というのは忌避されるどころか推奨すらされている。ZooKeePerはそんな怪物たちの可能性を模索する研究者であり、彼は"ジャームが持つ潜在能力を探求したい"という欲望に巻き込まれた犠牲者である。二人の仲は極めて良好な上互いにとってwin－winな関係性でもある。しかしながら、彼がわずかばかり残された理性すらも手放してしまう日はすぐそこまで迫っている。